読Qの使い方

いろいろな人の読Q活用例: 小学生さんへ、中学生さんへ、学生さんへ、読書サークルさんへ、教師の方へ、大学教授の方へ、採用担当者さんへ、会社員さんへ、就活生さんへ、図書館員さんへ、海外在住者の方へ、学童の方へ、子育てサークルの方へ、身体の不自由な方へ、日本語を勉強したい外国の方へ、インターネット環境を持つ全ての方へ

目次

第1章 会員種類および主なページの説明

- 1. 会員の種類
- 2. 読Qトップページ(学校、教師トップページも紹介)
- 3. 読Q本ページ
- 4. マイ書斎 (グラフの見方なども・読Q会員学校所属の場合も)

第2章 検定面の説明

- 1. 本の検索 (読みたい本に登録、本の登録とクイズ作成)
- 2. 受検
- 3. ポイントと級
- 4. 合格した場合(学校での画面も紹介)

第3章 読書推進活動面の説明

- 1. 本の登録とポイントの設定
- 2. 検定問題の作成
- 3. 試験監督をする
- 4. 監修者になる
- 5. あしなが援助賛同会員になる

第4章 監修者および著者会員の説明

- 1. 監修者会員によるクイズ選定と管理 (管理・・・協会から連絡があったらクイズを編集する、等)
- 2. 監修者会員による帯文管理 (協会から連絡があったら削除、または協会に相談して削除)
- 3. 著者会員の特権

第1章 会員種類および主なページの説明

1. 会員の種類

一般会員・・・個人で読Qに登録をされている会員のうち、監修者会員と著者会員を除いた会員を言います。読Q 利用登録のある学校に所属して読Q活動を行う児童生徒も、一般会員に含まれます。

読Q受検や検定問題作成が出来ます。20歳以上の方なら、web 受検する会員を見守る試験監督をしていただくこ

ともできます。マイ書斎内の受検結果や読書量順位、読書履歴、読書推進活動記録等の公開非公開を設定できま

す。読Q受検に合格した本については、その読Q本の公式画面向けに帯文(本のおすすめコメント)を投稿したり、帯文に「いいね!」を付けたりして楽しむことができます。入試、就活、宿題等の提出物として利用可能な「読書認定書」(現在のポイントや級、読み終わった本の読了証明)を発行することもできます(有料)。 会費は、月額 100 円、または年額 1000 円です。

監修者会員・・・教師経験者や文系の学士をお持ちの方は監修者会員になっていただけます。一般会員の権限に加えて、監修者会員はお好きな本の監修者に立候補できます。その後当協会によって、その本の担当に選任された監修者は、集まった沢山のクイズ文から良いものを選定し、正式な読Qの検定問題として認定します。監修は何冊でもしていただけます。また、監修者は、担当する読Q本のページに投稿される帯文を管理し、不適切な投稿を削除する権限を持ちます。監修本を持つようになると、「監修者紹介ページ」にプロフィールが掲載されます。会費は、月額 100 円、または年額 1000 円です。

著者会員・・・出版社から本を出版している作家の方は、著者会員として会員登録ができます。監修者会員の権限に加えて著者会員は、問合せからご連絡いただければ自著の監修者になることができ、クイズや本のページの管理ができます。マイ書斎内で、自著リストの管理や読者数比較等が可能です。著者会員様にはペンネーム表示をお願いしています。

会費は、月額 100 円、または年額 1000 円です。

読Q会員学校・・・読Qの利用規約に同意し、読Q会員登録をした学校をいいます。小学校、中学校、高校、大学が登録申請していただけます。読Q会員学校は、読Q活動を行う教師や生徒を新規会員登録および所属登録する ことができます。読Q会員学校は、読Qウェブサイトにて校内および学校対抗の読書量競争ができます。校内では 担当教師が試験監督になり、複数人一括で読Q受検が可能です。読Q会員学校の読Qネームでログインすると、主に教師や司書および児童生徒の読Q登録や編集削除、教師や司書の権限の設定と、学校読Qページの管理等を行うことができます。

※読Q会員学校の会費(月額)・・・学校が新規利用登録をした児童生徒数×100円 + 読Q活動を行う教職員や司書の人数×100円

教師会員・・・読Q会員学校で利用登録をした教師や司書を指します。教職員や司書は学校の読Qシステムを使えるものの、ログインパスワード等は学校が管理します。そのため、受検などの個人的な読Q活動はできません。受検したい場合は、個人的に監修者会員として入会し、もう1つ読Qネームを取得することが必要です。(教師の方は一般会員ではなく、監修者会員になれます)

教師会員の会費は、読Q会員学校が負担します。

準会員・・・読書推進の観点から設けている無料会員です。読Qの受検ができない等、利用できる機能に制限のある個人会員です。準会員は、次の2種類があります。

①教師会員の読Qネームを持っていたことのある個人

会員学校で教師会員をされた方は、会員学校を離れると準会員となります。準会員は、検定問題の作成、本の 登録、試験監督などは出来るので、読書推進活動を続けていただけます。会費支払い等の手続きをすれば、監修者 会員や一般会員になることもできます。再び会員学校に所属すると、自動的に教師会員に戻ります。

②読Q会員学校を卒業または転校した、20歳未満の個人

読書推進の観点から、若年層には優遇措置を講じています。読Q会員学校所属の20歳未満の会員については、所属する会員学校から卒業や転校をすると、自動的に準会員となります。20歳未満の準会員は、20歳になる前

に、①読Q会員学校に所属する。②個人で会費支払いの手続きをする。という①②いずれかの方法により、一般会員として同じ読Qネームを再開できます。また、20歳未満の方は、たとえ読Q退会手続きをして退会しても、また新規登録や問合せから再開の手続きをすれば、同じ読Qネームで、履歴を継続することが可能です。20歳を過ぎると、同じ読Qネームを再開することはできません。

新規登録について

読Qトップ画面右上の「新規登録」をクリックして、該当する会員種類で新規登録してください。入力方法などの 詳細は登録画面からマニュアルを参照可能です。

登録後、最短で2週間は会費の支払いが行われませんので、その間は無料でお試しいただけます。万が一取りやめる場合は、2週間以内に退会すれば、支払いは発生しません。

会員名の表示について

読書は教養を深める真面目な行為であることから、読Qでは本名での活動を推奨しています。本名以外では、ログイン時に使用する読Qネーム(ファーストネームと数字から成る会員固有の ID)を表示することも可能です。匿名での活動はできませんが、基本情報や読Q活動の公開非公開を選択することができます。なお、中学生以下の会員については氏名完全非公開で、居住市区町村と学校名を公開しています。

会費について

読Qは1人につき月額100円、または年額1000円の会員制です。いただいた会費は読Qのシステム維持と運営に充てさせていただきます。会費だけでは賄えないため広告収入も得ております。ご理解のほどお願い申し上げます。

- ★ あしなが援助金のご案内
 - ■低所得世帯のお子さんの会費を20歳まで、複数人分肩代わりができます。
 - ■あしなが援助金受給希望者が少なく、6か月の間でマッチングが難しい場合は、20歳未満の読Qポイントランキング最上位者の、年少者から順番に、会費援助をお願いしています。ご了承ください。
 - ■援助相手とのマッチングは当協会が行います。援助開始後、互いの公開マイ書斎を閲覧できます。本名 や連絡先の交換は行いません。
 - ■マッチングまでに最長6か月の猶予をいただきます。その間の会費は事務手数料とお考えください。あしなが援助金の受給を希望する方も、最長6か月間は、会費のお支払いをお願いいたします。
 - ■6か月経っても、人数のアンバランスにより、あしなが援助が成立しない場合、20歳未満の読書量ポイントランキング最上位の会員の会費を、奨学金のような形で援助していただきます。
 - ■あしなが援助をしたい方は、新規登録時に会費支払い項目で、援助する人数を選んで登録してください。 そして、念のためログイン後に問合せ欄から、援助人数をお知らせいただくと漏れが防げます。
 - ■あしなが援助金の受給を希望する方は、本人確認書類の撮影時に、低所得を証明できる書類を一緒に 撮影して送信してください。その後必ず、ログインして問合せ欄から、受給希望の旨をお知らせ願います。

退会する場合・・・読Qの会費は少額です。退会しても、既に納めていただいた会費は返却いたしません。既に納めていただいた会費分の有効期間は無効になり、退会手続き終了とともにログインできなくなります。読Qは少人数で運営している非営利団体であり、極力業務を簡素化させていただいております。どうかご理解のほどお願い申し上げます。

退会すると、せっかく貯めた読書量のポイントや級、読書履歴等が消失してしまいます。読書が出来るなら、ぜひ 読Qを継続しましょう。

20 歳未満の会員については、若年層の読書推進の観点から、退会しても、新規登録やお問合せから手続きをすれば、同じ読Qネームを再開し、履歴を継続することが可能です。但し、手続きに時間がかかることがあります。

- 2. 読Qトップページ(学校、教師トップページも紹介)
- 3. 読Q本ページ
- 4. マイ書斎 (グラフの見方、読Q会員学校所属の場合も)

第2章 検定面の説明

- 1. 本の検索 (読みたい本に登録、本の登録とケイズ作成)
- 2. 受検
- 3. ポイントと級
- 4. 合格した場合 (学校での画面も紹介)

第3章 読書推進活動面の説明

- 1. 本の登録とポイントの設定
- 2. 検定問題の作成
- 3. 試験監督をする
- 4. 監修者になる









